



平成 21 年 5 月 26 日

各 位

会社名 株式会社 スパンクリートコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 原 田 穰
(J A S D A Q ・ コード 5 2 7 7)
問合せ先 常務取締役企画室長 村 山 典 子
(TEL. 0 3 - 5 6 8 9 - 6 3 1 1)

第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 5 月 26 日開催の当社取締役会において、下記のとおり第三者割当による自己株式の処分を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

処分要領

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| (1) 処分株式の種類および数 | 普通株式 176,700 株 |
| (2) 処分価額 | 1 株につき 181 円 |
| (3) 処分価額の総額 | 31,982,700 円 |
| (4) 処分方法 | 第三者割当の方法により全株株式会社紀文食品に割当てる |
| (5) 払込期日 | 平成 2 1 年 6 月 11 日 |
| (6) 処分後の自己株式数 | 1,049,318 株 |

1. 第三者割当による自己株式処分の目的

今般実施の自己株式処分は、自己株式の有効活用と株式持合い比率の是正を目的に特定の第三者である株式会社紀文食品に対し自己株式を割当てるものであり、当該自己株式処分による調達資金は、全額スパンクリート事業の運転資金に充当いたします。なお、今回市場買付ではなく自己株式処分を選択した理由は、当社株の出来高が少ないことが背景にあります。

今次割当先(譲渡先)である食品メーカーの株式会社紀文食品とコンクリート 2 次製品メーカーの当社とは業務上の取引関係はありませんが、両社はトヨタ生産方式を土台とする N P S 研究会の会員会社同士であり、かねてより安定株主対策の一環として相互に株式を保有しております。当社保有の同社株式総数 50,000 株に対し、同社保有の当社株式数は 25,200 株であります。今回の処分総額約 3 2 百万円をもって双方の持ち合い株式の総額が均衡する予定であります。

2. 調達する資金の額及び用途

- (1) 調達する資金の額(差引手取概算額)
31,982,700 円
- (2) 調達する資金の具体的な用途
スパンクリート事業の運転資金に充当いたします。

(3) 調達する資金の支出予定時期

平成21年6月～7月

(4) 調達する資金使途の合理性に関する考え方

市場買付により取得した当社の保有する自己株式の有効活用の観点から、自己株式を譲渡するものであり、主力事業であるスパンクリート事業の運転資金に充当することについては合理性があると考えております。

3. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績（連結）（単位：百万円）

事業年度の末日	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
売上高	4,375	4,450	4,350
営業利益	196	213	206
経常利益	386	299	270
当期純利益	154	128	△225
1株当たり当期純利益（円）	19.63	15.97	△27.66
1株当たり配当金（円）	8.00	8.00	4.00
1株当たり純資産（円）	1,000.32	982.44	913.11

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況

種類	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式総数	9,292,400株	100%
現時点の転換価額（行使価額） における潜在株式数の総数	一株	—%
下限値の転換価額（行使価額） における潜在株式数の総数	一株	—%
上限値の転換価額（行使価額） における潜在株式数の総数	一株	—%

(3) 今回の自己株式処分

処分日	平成21年5月26日
調達資金の額	31,982,700円
処分時点における 発行済株式数	9,292,400株
処分時における 潜在株式数	1,226,018株

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

該当事項はありません。

(5) 最近の株価の状況

平成 21 年 3 月期末 (平成 21 年 3 月 31 日終値)	210 円
平成 20 年 3 月期末 (平成 20 年 3 月 31 日終値)	333 円
平成 19 年 3 月期末 (平成 19 年 3 月 31 日終値)	394 円
直近 3 か月の終値平均 (平成 21 年 2 月 26 日～平成 21 年 5 月 25 日)	192 円

4. 募集後の大株主及び持株比率

処分前 (平成 21 年 3 月 31 日現在)		処分後	
自己株式	13.19%	三菱商事(株)	12.78%
三菱商事(株)	12.78%	日本スパンクリート機械(株)	11.77%
日本スパンクリート機械(株)	11.77%	自己株式	11.29%
鈴木金属工業(株)	6.54%	鈴木金属工業(株)	6.54%
村山好弘	4.90%	村山好弘	4.90%
ソシエテ ジェネラル エヌアルエイ エヌオーテ イテイ	4.47%	ソシエテ ジェネラル エヌアルエイ エヌオーテ イテイ	4.47%
遠山偕成(株)	3.66%	遠山偕成(株)	3.66%
エアイツクス エスアイエス エルティエデー イー	3.33%	エアイツクス エスアイエス エルティエデー イー	3.33%
村山典子	2.65%	村山典子	2.65%
村山知子	2.56%	村山知子	2.56%

潜在株式数は反映しておりません

5. 業績への影響の見通し

金額が少額なため今期業績への影響は軽微であります。

6. 処分条件等の合理性

(1) 処分条件 (処分価額等) が合理的であると判断した根拠

処分価額は平成 21 年 5 月 25 日のジャスダック証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値である 181 円といたしました。直近の市場価格に基づくものであり合理性があると判断しております。

(2) 処分数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

今次処分数量 176,700 株は発行済株式の総数 9,292,400 株に対し 1.9%、議決権ベースでの株式 8,065,200 株に対し 2.2%となっており、流通市場に与える影響は軽微であると考えます。

また、本件については相互に保有している株式の持ち合い比率を是正することで双方の安定株主としての関係をより強固なものにせんと企図したものであります。

よって処分数量等の希薄化の規模は合理的であると判断します。

7. 処分先の選定理由

(1) 処分先の概要

① 商号	株式会社紀文食品		
② 事業内容	食品練り製品等の加工販売		
③ 設立年月日	昭和22年9月		
④ 本店所在地	東京都中央区銀座5-15-1		
⑤ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 保芦将人		
⑥ 資本金の額	44億25百万円		
⑦ 発行済株式数	19,208千株		
⑧ 純資産	10,821百万円		
⑨ 総資産	61,095百万円		
⑩ 事業年度の末日	3月31日		
⑪ 従業員数	1,313名		
⑫ 主要取引先	イオン(株)、(株)イトーヨーカ堂、(株)日本アクセス外		
⑬ 大株主及び持株比率	保芦 将人 25.7%		
⑭ 主要取引銀行	みずほ銀行		
⑮ 上場会社と 割当先の関係等	資本関係	同社が保有する当社株式総数 25,200株 当社が保有する同社株式総数 50,000株	
	取引関係	該当事項はございません。	
	人的関係	該当事項はございません。	
	関連当事者への 該当状況	該当事項はございません。	
⑯ 最近3年間の業績			
事業年度の末日	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
売上高	66,383	67,226	68,983
営業利益	3,248	1,291	1,909
経常利益	2,206	109	956
当期純利益	294	△96	525
1株当たり当期純利益(円)	14.83	△5.00	27.34
1株当たり配当金(円)	7.50	3.75	7.50
1株当たり純資産(円)	607.14	556.46	563.40

(単位：百万円)

(注) 平成21年3月期の数値は見込み数値であります。

(2) 処分先を選定した理由

当社と株式会社紀文食品とは業務上の取引関係はありませんが、両社はトヨタ生産方式を土台とするNPS研究会の志を同じくする会員会社であり、相互に株式を保有し合っております。今回の自己株式処分により、株式の持ち合い比率を是正することで、双方の安定株主としての関係をより強固なものにせんと企図したものであります。

(3) 処分先の保有方針

当社と処分先との間におきまして、処分する株式について継続保有及び預託に関する取り決めはありませんが、中長期的に保有する予定であり、処分株式の発行から2年以内に当該株式の全部または一部を譲渡した場合には直ちに譲渡を受けた者の氏名または名称、住所、譲渡先株式数、譲渡日、譲渡価額、譲渡の理由および譲渡の方法等を当社に書面にて報告することの確約を得ることについての内諾を得ています。

以 上